

エコアクション 21 環境経営レポート

発行日：令和 6 年 9 月 26 日

(運用期間：令和 5 年 2 月～6 年 1 月)

株式会社タメイシ産業

1. 会社概要

- ・ 商 号 : 株式会社タメイシ産業
- ・ 代表者 : 代表取締役社長 立岡 尚也
- ・ 所在地 : (本社) 東京都東久留米市中央町 5-7-41
- ・ 環境窓口 : 環境管理責任者 佐藤
担当者(環境推進事務局) 関戸
T E L 042-476-1991
F A X 042-476-1996
E-mail sekido@tameishi.co.jp
- ・ 事業内容 : 包装資材・工業資材の 卸・加工販売
 - ・ 電子精密機器向け両面テープ抜き加工(車・携帯・液晶)
 - ・ 樹脂・発泡体・通函箱の設計・加工
 - ・ 梱包資材 卸販売
 - ・ ラベル・シール 加工販売
- ・ 事業規模(令和5年2月～令和6年1月)
 - 資本金 3,000 万
 - 売上高 83,000 万
 - 従業員 本社 12 名
 - 法人設立 昭和 51 年 2 月 1 日

2. 対象範囲

- ・ 当社は全組織・全活動を対象としています。

3. 環 境 経 営 方 針

基本理念 株式会社タメイシ産業は地球環境問題を重要課題と認識し、事業活動を進め社会に貢献いたします。

基本方針

- 1 当社は、包装資材・工業資材の総合商社として継続的に改善し環境問題に取り組む。
- 2 事業活動において、資源節約（電気・ガソリン・水）と廃棄物削減を推進する。
- 3 顧客要求条件を満たし、環境にやさしい商品を提供する。
- 4 全社員に環境方針を周知徹底し、環境保全活動をおこなう。
- 5 環境関連法規を遵守する。
- 6 グリーン製品を積極的に販売する。
- 7 社内の要所に環境経営方針を掲示して、全従業員にエコアクション 21 環境経営システムを徹底します。

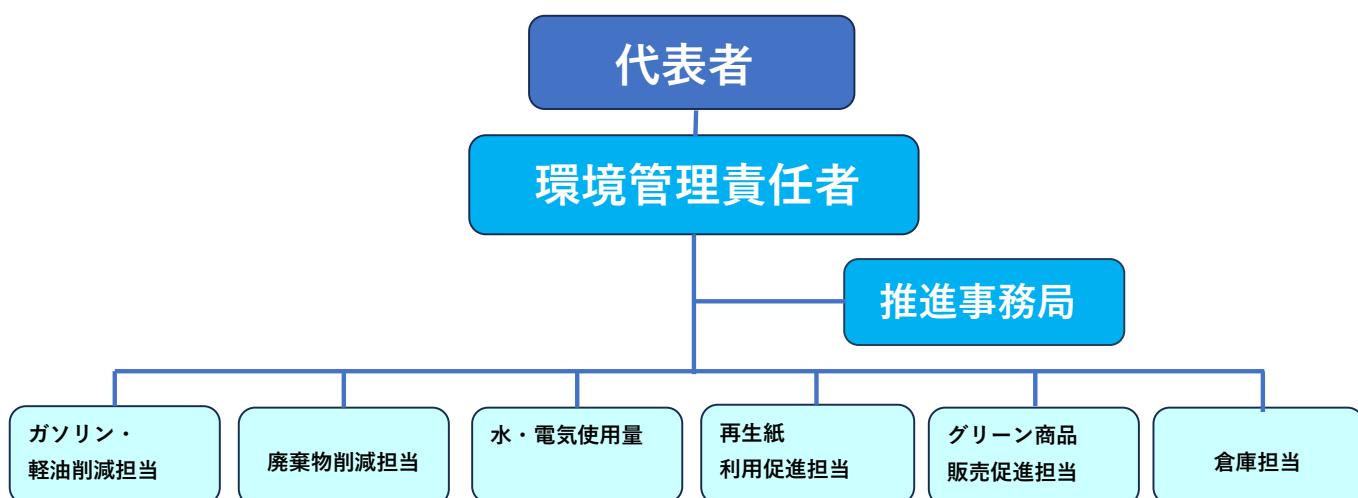
制 定 2006 年 9 月 11 日

改 定 2022 年 2 月 1 日

株式会社タメイシ産業

代表取締役 立岡 尚也

4.実施体制



	担当部門		役割と責任
代表者	立岡 尚也		会社組織として環境に取り組む意思決定 環境方針の作成 環境目標の設定・全体の評価と見直し 環境管理責任者の任命 客先及び取引業者に対し環境活動推進のアピール 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	佐藤 大介		環境活動状況の管理及び代表者への報告 不具合時における取りまとめ及び代表者への報告 代表者と協議し環境目標の設定を行う
推進事務局	関戸 俊之亮		環境活動計画におけるデータ管理 環境管理責任者への活動内容の報告 環境教育活動の推進 環境対応窓口（客先からの問合せ等）
推進委員	ガソリン・軽油削減担当	吉田	ガソリン使用量走行距離の管理・エコドライブの徹底 3ヶ月毎に活動の評価を実施する。必要な場合に是正提案を行う
	廃棄物削減担当	大木	廃棄物の分別及びデータ測量 3ヶ月毎に活動の評価を実施する。必要な場合に是正提案を行う
	水・電気使用量節約担当	真栄平・佐久間	水・電気消し忘れ確認など 3ヶ月毎に活動の評価を実施する。必要な場合に是正提案を行う
	再生紙利用促進担当	柏舘	再生紙の管理及び再生紙使用状況のチェック 3ヶ月毎に活動の評価を実施する。必要な場合に是正提案を行う
	グリーン商品販売促進担当	板屋越	グリーン対応商品販売状況のデータ管理及び販売促進 3ヶ月毎に活動の評価を実施する。必要な場合に是正提案を行う
	倉庫担当	ブラウン幸洋	倉庫内の整理・相当

5. 中長期活動目標

弊社は下記の通り中長期の環境活動目標を設定し目標達成に向けて活動いたします。
 中長期の活動目標は期間を3ヶ年に設定いたします。(設定期間は2021年～2023年)
 また、中長期の目標は単年度計画に反映し活動計画を進めます。

(対象項目) 水・廃棄物・ガソリン・軽油

目標設定 2018年度～2020年度 実績の平均値に対し年1%ずつ削減

(対象項目) 電気・

目標設定 2018年度～2020年度 実績の平均値に対し年1%削減

(対象項目) 再生紙

目標設定 シュレッダー紙の再利用kg数を2021年を基準年から1%ずつUP

(対象項目) グリーン販売

目標設定 対象製品の新規顧客販売件数を2021年を基準に同件数販売

	活動内容	実績値 (基準年)	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	担当者
1	水	59 m ³	58 m ³	57 m ³	56 m ³	38 m ³	真栄平
2	電気 CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	10033kWh 4,435kg-CO ₂	9,933 kWh 4,390kg-CO ₂	9,933 kWh 4,390kg-CO ₂	9,933 kWh 4,390kg-CO ₂	10,260 kWh 4,535kg-CO ₂	佐久間
3	廃棄物	381kg	377kg	373kg	369kg	305kg	大木
4	再生紙	257kg	257kg	260kg	263kg	330kg	柏舘
5	ガソリン・ 軽油 CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	11,235ℓ 26,675kg CO ₂	11,123ℓ 27,480kg-CO ₂	11,011ℓ 27,205kg-CO ₂	10,900ℓ 26,930kg-CO ₂	7,670ℓ 15,095kg-CO ₂	吉田
6	グリーン製品の販売件数	9 件	9 件	9 件	9 件	9 件	板屋越

* グリーン販売の対象商品は2011年度から対象商品を拡大しグリーン商品の拡販を行っています。
 グリーン製品の販売顧客数の拡大 グリーン製品の販売促進
 上記 実績値(基準年)とは2018年から2020年の平均値から算出。

*電気のCO₂排出量の計算式は最新版の係数0.443g-CO₂/kWhにて算出しています。

6. 単年度の環境経営目標とその実績

1. 目標の達成状況

当社は、下表の通り削減目標を掲げ環境活動 2023（2023 年 2 月～2024 年 1 月）に取り組んでまいりました。各項目の結果をふまえ今後も、削減目標を定め活動してまいります。

項目	設定目標値	2023 年 目標値	2023 年 実績値	結果
ガソリン・軽油の削減 CO ₂ 排出量(kg- CO ₂)	中長期計画の数値を目標	10900ℓ 26,930kg- CO ₂	8412ℓ 20,001kg- CO ₂	22%減 達成
電気使用量の節約 CO ₂ 排出量(kg- CO ₂)	中長期計画の数値を目標	9,933kWh 4,390kg- CO ₂	10295kWh 4560.69kg- CO ₂	4%増 未達成
CO ₂ 総排出量(kg- CO ₂)		31,320kg- CO ₂	24562kg- CO ₂	21%減 達成
シュレッダーの使用量	今年度より数値を設定	263kg	298kg	13%増 達成
廃棄物の削減	中長期計画の数値を目標 ＊中長期計画値達成しているが更なる削減に取り組む	369 k g	260.6 k g	29%減 達成
グリーン製品の優先販売 (ワンダークッション) (フィクスペーパー)	今年度より数値を設定	9 件	3 件	未達成
水道使用量の節約	中長期計画の数値を目標	56 m ³	38 m ³	32%減 達成

＊ グリーン製品 ： ①商品名：ワンダークッション

隙間埋め用バラ状緩衝材 印刷工程の断裁クズや古紙を主原料として作られており、燃やしてもダイオキシンは発生せず低コストで環境にやさしい緩衝材です。

②フィクスペーパー

雑誌の紙を再利用し隙間埋め緩衝材として使用。可燃物として廃棄でき価格的にもメリットのある商品

＊電気の CO₂ 排出量の計算式は 0.443(kg- CO₂/k W h)を基準に算出。

7. 主要な環境経営計画の内容

当社では、環境負荷・低減活動として下記の項目に留意し環境活動を行ってまいりました。

- ・ガソリン・軽油の削減 アイドリングストップ・急発進・急加速・急停止をしない事への徹底。
 (営業車にエコドライブ推進 のステッカーを貼る)
 使用燃料削減に繋がる効率の良い営業ルートを設定する。
 月毎にガソリン (軽油) 使用量及び走行距離を管理し、削減意識を高める。

- ・コピー用紙の再利用化 再利用用紙の専用置場を作り再利用化の徹底を図る。
 再生紙として利用できるもの・できないものの整理をして分別の徹底を図る。
 再生しとして利用出来ない物についてはシュレッターした上で古紙回収業者に引取
 ってもらい資源として再利用をしてもらう。

- ・廃棄物の削減 チェックリストにてゴミ分別の徹底。
 ゴミ廃棄重量の測定をチェックシートにて記録し廃棄物の削減活動を行う。
 ダンボールなど再利用可能なものは福祉施設へ預けている。
 廃棄物処理は東久留米市認定業者にて回収している。

- ・グリーン製品の優先販売 データシートにて販売状況のデータを集積し月毎の営業会議にて報告。
 新しいグリーン対応商品が発売された場合、会議にて報告し、グリーン商品の
 販売促進を図る。

- ・電気使用量の節約 チェックリストにて外出時・退社時にパソコンの電源の消し忘れが無いかの
 確認を行う。
 昼休み時間は室内の電気を消す。
 エアコンの温度設定の管理 室内温度は 28 度。

- ・水道使用量の節約 通常、一般生活レベルでの使用に留まっているが、更なる削減に向け、
 チェックリストを用い蛇口の閉め忘れ等が無いか確認を行った。

8. 環境経営計画の取組結果の評価・次年度の取組内容

環境目標	取組結果	評価	次年度の取組
1 : CO ₂ の削減	(ガソリン・軽油) エコ運転の意識や無駄な走行の無いような営業活動など意識も高くなり数字に表れてきています。	○	各自営業エリアが広がってきていますが一層エコ運転・無駄の無い営業活動を心がけるよう徹底します。
	(電気使用) 暑さ・寒さが厳しくなっている中でエアコンの使用量が増えているのが原因かと思います。 電気使用について無駄使いに対する意識・声掛けは定着してきています。	×	無理のない範囲で再度エアコン設定温度の確認、使用方法等を見直しながら継続して削減に努めて行きます。
2 : 廃棄物の削減	廃棄物になるものを持ち込まない・廃棄物にしないという意識は会社全体で共有できていると思います。サンプルなどお互いに声を掛け合い廃棄物にしない・無駄にしない声掛けが出来ています。	○	継続して廃棄物になるものを持ち込まない・廃棄物にしないの意識を共有していきます
3 : 裏紙の再利用	今期もしっかりと裏紙とし使用しその後シュレッダーゴミにする流れは各自自然と出来てきているようです。 裏紙チェック作業者の偏りはもう少し意識が必要です。	○	今期に続きチェック作業者の偏りを無くす事を意識して行きます。
4 : グリーン対応商品の販促	対面営業が制限されている中、商品の紹介が難しい事もありますが、チラシの作成、DMでの案内等で声掛け・営業活動も出来ず成果が無かった一年です。	×	対面営業・チラシ・DM等を利用し拡販活動をしていきます。また社内教育の徹底と共に、客先へのPR後のフォローも忘れず取り組んで行きます。
5 : 水使用量の節約	節水意識が徹底されており、蛇口の閉め忘れ等も社員一人一人が気を付けている為削減の成果が出ています。	○	最低限の使用量を継続できていますので、次年度も引き続き削減出来るように取り組みます。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価した結果、特に問題はありません。

又、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

尚、遵守すべき主な環境関連法規は廃棄物処理法、東久留米市条例、フロン排出抑制法等です。

10. 代表者による全体の評価

長くエコアクション活動を推進していく中で各担当者が意識と自覚をもって活動に取り組んでいるなど感じています。年間の教育訓練において各担当者の発表する場がありますが決められた発表時以外でも朝の朝礼時や日々の業務中にも注意喚起を行っている姿が見受けられ活動が継続し社内に浸透している事を実感しております。

会社運営上営業車のガソリン消費や酷暑による事務所内のエアコン使用による電気使用量の増加などやむを得ない事象もありますが今後は今行っている活動内容がベストなのか改善・工夫の余地がないのか皆で話し合い議論を深めて欲しいと思います。今後5年・10年と続けていく中で社会（お客様）から弊社に期待される事も時代に合わせ変化していくと思われます。

変化に合わせ当社も更に成長しエコアクションを通じて社会の役に立てる会社になるよう力を合わせて頑張りましょう。